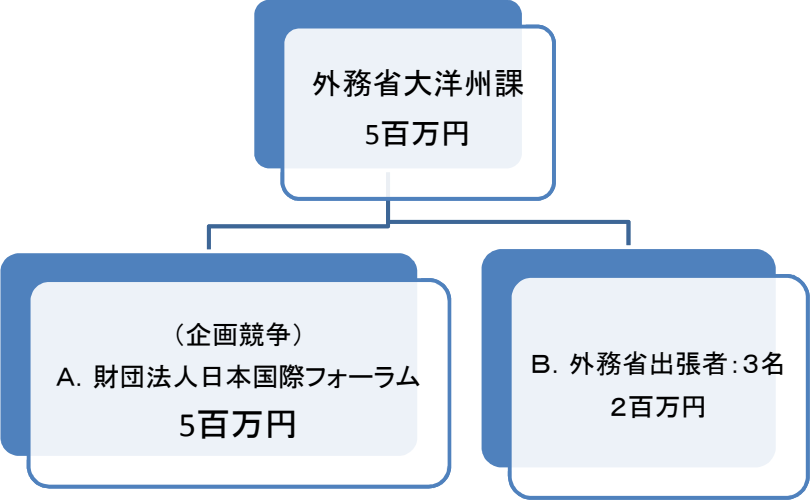


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	「日豪1.5トラック安全保障対話」開催経費		担当部局庁	アジア大洋州局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度		担当課室	大洋州課		課長 飯田 慎一		
会計区分	一般会計		施策名	I-1 アジア大洋州地域外交				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項 外務省組織令第42条		関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日豪両国が関心を共有する地域安全保障問題に関し、両国の安全保障専門家が個人の立場から意見交換を行い、日豪間の協力促進のための方途を検討し、両国政府に対し提言を行うことは、二国間対話の強化とともに、政府として今後取り組むべき事柄について、意見を招集することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本対話は、1.5日間をめどにした小範囲のラウンドテーブルで行い、1年から1年半に1回、日豪で交互に開催する。平成23年度においては、日本側が主催し、日本側の安全保障分野の有識者を集める(豪州側は、豪州戦略政策研究所が集める)。日本側運営については、企画競争入札を実施の上決定する。参加者数は双方それぞれ官民計6名程度を想定し、大凡3セッション設定し、それぞれのセッション毎に日豪双方からのプレゼンターを設置する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	2	5	6	2	7	
	執行額	0	4	7				
	執行率(%)	0%	80%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	有識者の議論の政策への活用及び政策提言数		成果実績	回	0	1	1	1
			達成度	%	0	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	1.5トラック安保対話の開催		活動実績 (当初見込み)	回	0	1	1 ()	(1)
単位当たりコスト	2,198(百万円/1回)		算出根拠	執行額/会議開催数				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	h	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	会議開催経費	2,062	200	24年度は国外開催(旅費を要する)ため増額となっている。				
	旅費	136	6,461					
計	2,198	6,661						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	—	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	日豪政府間では、日豪外務・防衛閣僚協議を定期的に実施している。他方、本事業は民間の参加者から率直な意見交換を求めるものではあるが、今後は、上記閣僚協議にぶら下げて実施するなど、政府の動きと連動させることで、より具体的な提言内容が期待できると思料する。また、過去の日本側参加者との間で、必要に応じ意見交換の場を設け、日豪安全保障政策について一層の協力いただくことも可能。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	—		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
—			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	会議参加費	航空運賃	4			
	会議開催費	報告書作成、人件費、運営管理費	1			
	計		5	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	職員旅費	航空運賃、日当宿泊料	2			
	計		2	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本国際フォーラム	会議開催委託	5		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	外務省職員3名	外国旅費	2		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					